

退 公 連

い わ き

第 72 号

福島県退職公務員連盟
いわき支部

発行日 令和7年7月10日
発行者 草 野 義 教
発行所 石森二丁目6-1
(電) 22-9881
印刷所 八幡印刷株式会社

令和7年度
支部総会

役員改選で支部長、監事再任。
講演会も開催

いわき支部総会は、4月30日に労働福祉会館において開催された。

はじめに令和6年度に逝去された30名の会員に対して黙祷を捧げた。

挨拶に立った草野義教支部長は、年金等の社会保障制度の現状や定年の延長に伴い新入会員獲得の厳しい状況に触れ、これまではコロナへの対応のため諸活動を縮小せざるを得なかったが、これからは、豊かで活力のある生活の維持と会員相互の融和・連帯、社会貢献を目指した活動に戻したいと力強く話された。

米寿24名の会員へ記念品を贈呈した。(記念品は今年も事前郵送)

続いて、伊藤弘子氏を議長に選出して議事に入り、会務・決算報告の後、事業計画案・予算案の審議がなされた。事業計画では、事務局長及び5名の部長より基本方針、活動計

画等が発表された。活動の見える化のため支部オリジナルののぼり旗を製作し事業で掲揚する事や海をきれいにする奉仕活動に取り組む事等会員皆様の協力のもとに諸事業を推進していくことが確認された。

7年度は役員改選の年であり、草野義教支部長、鈴木貴一監事、比佐恒子監事が選出された。また、支部長より役員・方部委員を委嘱した。

日公連の新聞が今年度より年6回の偶数月の発行に伴い、支部からの新聞等の送付を年4回への変更も承認された。議事はスムーズに進行し短時間で総会を閉じた。

総会終了後に、新たな試みとして水泳の金メダリスト田口信教氏(医療創生大学常任理事)による「金メダルへの道」の演題による講演が開催された。(事務局長 団野 勝一)

支部長あいさつ

支部長 草野 義教

この度成立した年金改革法では、厚生年金の積立金を活用した基礎年金の底上げ策が見送られました。基礎年金の底上げは厚生年金の一時的な目減りを伴うため、日公連ではこれを見直す要望を厚労省にきたので、一定の成果が見られました。

一方、基礎年金底上げ策の見送りによりマクロ経済スライドは今後も続くこととなります。マクロ経済スライドの実施により、物価高の中で年金生活者の生活は明らかに苦しくなっています。日公連では、マクロ経済スライドを早期に終了し、年金生活者の生活の安定を図るよう厚労省に強く要望しています。

全国的に会員が減少し続けている現状では、日公連の対外的な力が弱まり社会保障制度改革などへの影響力が衰えることが懸念されます。元同僚など身近な退職者への入会勧誘を是非お願いします。退公連の意義、役割、実績等をお伝えし、よりよい現状・未来につな

げるために必要な組織であることを強くお伝えいただきたく思います。



令和7年度いわき支部組織表

顧問	高木 清	組織部長	増井 啓三
同	鈴木 雅之	副部長	酒井 功
支部長	草野 義教	年金部長	古川洋一郎
副支部長	猪狩 良彦	部 員	高木 典子
同	関根 隆	女性部長	伊藤 弘子
同	佐久間 静子	副部長	比佐 恒子
事務局長	団野 勝一	部 員	佐久間 静子
幹 事	増井 啓三	福祉部長	中根 孝雄
同	中根 孝雄	副部長	小林 延子
同会計兼	古川洋一郎	部 員	片寄 善勝
同会計兼	団野 勝一	広報部長	鶴沼美枝子
監 事	比佐 恒子	副部長	鈴木 貴一
同	鈴木 貴一	部 員	大澤 範子

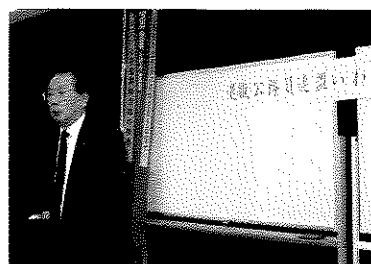
支部の主なあゆみ(令和7年度前半)

4・21	県評議員会 (郡山市)
4・30	いわき支部総会(労働福祉会館) (福島市)
5・12	第1回県理事会 (郡山市)
5・19	支部連絡会議 (郡山市)
5・28	支部長 事務局長 支部会報編集委員会 2、3回目は7月
5・28	支部役員・部員合同会 (ホテル塩屋崎)
7・2	海をきれいに 四倉海岸で奉仕作業
7・10	支部会報第72号発行
8月中旬	国会議員への要望活動
8月中旬	第2回県理事会 書面表決

講演会報告

講演「金メダルへの道」

副支部長 猪狩 良彦



いわき支部

教氏です。スポーツの妙技はカンニングが許される世界であり、世界一の泳ぎ方を真似て本気で継続して行うことにより道が開けたこと。世界の頂点に立つと交友関係が広がり、マスコミの取材などを通じて様々な情報に接することができたこと。身体能力アップと抗老化には苦痛と回復の繰り返しが必要であり、その方法として過重力環境を推奨しており、自らも過重力環境付与トレーニング施設の特許を取得していること。高齢者が安全、安心に死ぬまで幸せに住み続けるためには進化したテクノロジーを活用した住まいの改造を提案していることなど、大変興味のある話をしていただきました。

総会での初試みとして、総会終了後に講演を行いました。ミyunヘン五輪金メダリストで医療創生大学常務理事の田口信

福島県退職公務員連盟いわき支部 令和6年度会計決算書

収 入 金 2,386,849 円

支 出 金 1,873,860 円

差 引 残 高 512,989 円

次年度に繰越

◎収入の部

(単位：円)

項 目	決 算 額	本年度予算額	増減 (△)	付 記
1 会 費	1,642,960	1,631,350	11,610	会 費 1,186,000円 (593名) 振替手数料 30,360円 (548件) 賛 助 会 費 426,600円 (1,346名)
2 繰 越 金	684,215	684,215	0	
3 雑収入金	59,674	25,000	34,674	預金利息 306円 寄付 1,000円 販売手数料 58,368円
計	2,386,849	2,340,565	46,284	

◎支出の部

項 目	決 算 額	本年度予算額	増減 (△)	付 記
1 事 務 費	123,341	180,000	△ 56,659	事務用品、印刷代
2 通 信 費	206,747	250,000	△ 43,253	送料 郵便料
3 会 議 費	188,548	190,000	△ 1,452	県大会開催
4 交 付 金	90,261	120,000	△ 29,739	会費の10%方部へ交付
5 渉 外 費	1,414	20,000	△ 18,586	渉外関係
6 旅 費	50,000	120,000	△ 70,000	出張旅費
7 図 書 費	251,072	280,000	△ 28,928	新聞代 支部会報 図書
8 慶 弔 費	61,100	170,000	△ 108,900	会員慶弔 米寿記念品
9 部 会 費	13,777	35,000	△ 21,223	各部活動費
10 手 当	100,000	100,000	0	事務手当
11 負 担 金	787,600	870,000	△ 82,400	県連負担金 (1,000円 618名) 損害保険 振替手数料 (30,800円 560件) 災害見舞金 ネットバンキング基本手数料 (年66,000円)
12 予 備 費	0	5,565	△ 5,565	
計	1,873,860	2,340,565	△ 466,705	

令和7年4月30日

上記の通り報告いたします。

福島県退職公務員連盟いわき支部

支部長 草 野 義 教 ㊟

令和7年4月1日

監査の結果正確かつ適正であることを認めます。

監事 比 佐 恒 子 ㊟

監事 鈴 木 貴 一 ㊟

各部活動計画



組織部

部長 増井 啓三

令和7年度62歳定年制導入になり、令和8年3月31日には退職者該当なしとなる見込みである。

前記の事や昨今の退職者意識の変化により、なかなか新会員勧誘が難しくなっている昨今でもある。

会員の皆様には、後輩等お知り合いの方々に、今年度退職者への再勧誘、再任用者への勧誘の御協力をお願いしたい。

65歳の方々への勧誘は本年度も事務局の尽力により実施する予定。なお、勧誘の文書に入会案内や組織の概要を同封し、入会意志を確認してから、郵送する。

年金部

部長 古川洋一郎

基礎年金の国の負担割合は2004年以前は3分の1だったそう。現在は2分の1に増え、その負担増財源を、如何に確保するのも今後の課題といえそうである。

今年度の研修は、11月26日(水)午後実施する。場所は、今後連絡する。講師は、1972年ミュンヘンオリンピック1000m平泳ぎ金メダリストの田口信教(のぶたか)氏。世界新記録を達成した経験談は、年金世代の私達に、今後の生き方への指針を存分に与えてくれる。一人でも多くのご参加を心からお待ちしている。

福祉部

部長 中根 孝雄

1、地域に根ざした「社会貢献および環境保全活動」への取り組みとして、7月2日(水)に、四倉海岸で、女性部と共同で、ごみ拾い活動を行った。

2、会員の親睦活動と、新人入会活動を推進するため、10月中頃、猪苗代方面への日帰り、親睦旅行を計画している。

3、会員の健康維持の在り方について

健やかに生きる

—趣味・生きがいをもとめて—

そしてこれから

明治団地方部 青田 紳治

昭和57年4月1日福島県警察官拝命、平成30年3月31日定年退職。36年間の公務員生活にピリオド。それから悠々自適、夫婦二人で世界旅行……をするはずでした。

ところが、なぜか今も第二、第三、いや第四の職場で日々奮闘中につき、世界旅行はおろか国内旅行さえままなりません。

でも、今幸せです。毎月定期検診で血圧や中性脂肪などお決まりの薬は飲んでいけるものの、まあ健康で働けているのですから。

それにしても、今まで特に誰の助けも借りずに一人で生きてきたような顔をしています。この年になって一人では何もできなかったことに気づかされます。仕事は言うに及ばず、まず生

の学習会や講演会活動を推進するため、各部との連携を図り、新たな視点での活動を積極的に推進し、本組織への理解を深めていただくながら、入会を促進していく。

女性部

部長 伊藤 弘子

今年度も「全体の奉仕者の精神」と「活動の見える化によるアピール」を重点として活動する予定である。このことを踏まえて、次の三点を具体的な

まれたときから始まります。自然発生的に生を受けたわけでもなく、親がいたからその命であり、今着ている服も、履いている靴も、持ち物すべてが誰かが作ったものであり、自分で作ったものは何一つありません。

いろんな人にお世話になって生きてきたのであり、だからこそ生きてこられたのだと思います。それはこれから変わりません。

ですから、日常の生活において、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていこうと思います。

あつ、一つ大切なことを忘れていました。妻への感謝旅行が実現できますように。

穏やかに生きる

関田西方部、小野 幸子

「人生百年時代」と言われて、100歳や90代の方々の元気な姿をテレビ等で見る事が多く、とても感心している。私の場合は、数年前体の不調が続き、退職後していた趣味の習い

活動目標として掲げている。

1、他部との連携により、実効性のあつる活動計画を立て、社会参加、社会貢献をする。(奉仕活動)

2、会員相互の親睦を深めると共に新会員を増やせる機会を作る。(ふれあい旅行)

3、活動後には、報道機関をとおして、活動内容を多くの方に知らせ、退職公務員連盟への理解を深める機会とする。(アピール)

事はやめ、友人たちとの旅行や食事会などの外出も数少なくなり、今は必要な要件で出かけるのがほとんどである。それに16年間我が家にいた犬が2年前に亡くなり、散歩の回数もめっきり減ってしまった。

それでも、毎朝氏神様のご飯をついたためにやってくる小さなすずめたちのかわいさにいやされたり、季節ごとに咲く庭木の花や数少ない果樹が実をつけたりとすると小さな喜びを感じたりしている。夫が管理する畑の野菜の生育状況や収穫も楽しみである。

平々凡々な生活を送り、最近では人物の名前がパツと出なく、「あれ」「あれ」で会話し出して笑ってしまう事もあるが、家事や食事作りなどやることも多く、一日があつという間に終わってしまう毎日である。

これからも、願わくは大病をせず自分や家族があたり前においしく食事がとれて、小さな気づきや発見にささやかな喜びを感じながら、自分のペースでゆったりと穏やかな毎日が送られればいいかなと思っている。

随想 「ころり！」

郷ヶ丘1方部 横須賀俊明

妻を亡くして、9年。傘寿まで1年。後期高齢者の私の今の願いは、家族や周りの人々に迷惑をかけないで「ころり」とあの世に旅立てることである。コロナ騒ぎ以前に「会津ころり三観音」巡りを2回実施。3回で完遂と言われている。

2巡目の立木観音(金塔山恵隆寺)では、扉の代わりの斗帳の内側にある「立木千手観音像」を直接参拝できたのは、幸運だった。

1巡目の中田観音(弘安寺)では工事中のため、賽銭箱が遠くにあり1回目に入らず2回目ですと入った。御利益はいかに(半減かな?)野口英世の母シカが息子の火傷治療

絵画 旅の思い出



短歌

ジャーマンアイリス

飯野1方部 引地晴子

太陽の光を浴びて草木も緑を深め天地満ちくる
ジャーマンのアイリス咲きてゆつたりと青空めがけ情熱秘むる

と立身出世祈願のために月参りしたことでも有名である。

鳥追観音(金剛山如法寺)では、欄間にある左甚五郎作の隠れ三猿探

しをして、やっと見つけた。「災難より隠れ猿」「災難より逃れ猿」「安楽に暮らし猿」3匹目の猿は、牡丹の蕾に似せて隠し彫りされていた。

隠れ三猿を見つけたら「福まさる」といわれている。御堂は全国でも珍しい東西向拝口で、参拝は東から入り祈願して西から出れば、観音の導きで西方浄土へ安楽往生が叶うとい

明治国地方部 江尻絹子

若い頃は、海外旅行には特別な憧れがあつて是非出かけてみたいと思つたものです。退職してその夢が叶えられ沢山の思い出のシーンが舞台の上で右往左往しています。例えば、スペインの闘牛、スイスの山羊の群れ、イタリアのトレビの泉等々……トルコの遺跡のカップドキアも同じ目線で考えると世界の宝物になるようです。

事務局だより

○4月1日現在の会員数は551名です。前年度より47名の減少です。
○ふれあい旅行は、10月22日(水)で猪苗代方面を計画中です。募集等の詳細は8月にお知らせします。
○会費口座振替を6月19日に実施しました。

俳句 「風薫る」

鉄北2方部 古市 文子

初夏やシャツの上より聴診器
浜駆ける馬のたてがみ風薫る
新緑やひらく戌辰のいくさ絵図
ほととぎす啼く二万基の霊園に
梅雨寒の百疊の間に護摩を待つ

方部委員の新・退任者
今年度はありませんでした。
委員の皆様、よろしくお願ひします。

謹んで 哀悼の意を表します

令和7年1月～6月

吉田 静江	伊藤 一博
蛭田 勝司	久保木キヨ子
佐藤 武彦	村田 和夫
根本 榮信	長島 延夫
佐藤 孝夫	佐藤 光之
安藤キヨミ	鈴木 知
村上由美子	針金 功子
浦山 哲男	猪狩 松子
阿部 郁夫	鬼頭 貞彦
高桑 年昭	勝倉 孝行
草野 久子	

編集 後記

散歩をしているとき、不思議な花に出会った。周りが緑一色なのに、そこだけ枯れたような色をしていたのだ。図鑑で調べるとやせうつば(痩せ柵)だとわかった。葉緑素のない寄生植物でマメ科のシロツメ草などに寄生する。確かにアカツメ草に寄生していた。帰化植物で、最近分布を広げているという。「うつば」は花穂の形が矢を入れる鞆に似ているからという。同じ道でも、よく見ていると気づくことが多い。「今日は何と出会えるかな。」という思いが背中を押してくれる。